



株式会社リソー教育
代表取締役社長
(東京都少年サッカー連盟特別顧問)

天坊 真彦

東京都選抜少年サッカー大会に出場する選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、「TOMAS CUP」という形でこの大会を応援しています。今年で35回目となる長い歴史を持っているこの大会は、後に海外やJリーグで活躍することになる選手が小学生のときに出場したこともある伝統ある大会です。そのような大会を私たちがサポートして今年で15回目になりました。こうして長年にわたってサポートできることは、私たちにとっても嬉しいことで、また誇りに思っています。今後もできる限り応援していきたい、と考えています。

さて、この大会に出場する選手の皆さんは、東京都の各ブロックから選抜された選りすぐりの精鋭たちであると聞いています。これは、皆さんの日頃の努力の賜物であり、また、非常に幸運なことでもあると思います。皆さんは日々のトレーニングを通じて、技術の上達だけでなく、チームワーク・フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・思いやり・友情・様々な人への感謝といった大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくことを思うととてもうれしいです。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとっては、勉強ももちろん大切ですが、おけいこ事・習い事やスポーツに打ち込むことも大切です。それらを通じて様々な目標に、正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。

そうした考え方をもとに、私たちは「2018 FIFAワールドカップ ロシア」日本代表にも選出されたイングランドプレミアリーグ、ニューカッスル所属の武藤嘉紀選手を応援しています。彼は小学生の時にこの大会に出場していますが、TOMASに通って勉強しながらサッカーでも頑張り、受験とサッカーのどちらにおいても素晴らしい結果を出しました。まさに文武両道を体現している選手ですが、世界的な選手になった今でも、『強烈な努力』を座右の銘とし、厳しい練習の後に語学を毎日数時間勉強していると聞いています。私たちリソー教育グループは、武藤選手のような夢を持つ子どもたちを応援したいという想いで、これからスポーツ・芸術・文化支援を始めとする社会貢献活動に取り組んでいきます。

さあ、「TOMAS CUP」の開幕です。チームの勝利のために、ゲーム終了のホイッスルが鳴るまであきらめることなく、ゴールを目指し続ける皆さんを見るのが楽しみです。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



東京都少年サッカー連盟
委員長

吉實 雄二

元号が令和に代わって初めての「第35回 TOMAS CUP 東京都選抜6年生サッカー大会」を、ここ稲城市中央公園総合グラウンド、稲城長峰ヴェルディフィールドを会場にして開催します。

東京都全域で日々活動する803チーム、8500名の6年生の中から、優れた技術をもった選手たちが、所属するブロックの代表として集まりました。

多くの選手がこの大会で、技術はもちろん、リスペクトの精神をはじめ、たくさんのことを学び取り、将来に向けて心身ともにたくましく、心豊かな人間として成長してほしいと思っています。

5月から始まっている「U-20ワールドカップ ポーランド大会」、そして、フランスで「女子ワールドカップ」が行われます。今日ここに集まった選手達は、皆さんワールドカップ出場を目標にしていると思います。

来年はここ東京でオリンピック、パラリンピックが開催されます。いまから55年も前に行われた東京オリンピックの時、この会場にいる多くの大人の方は小中学生以下でしたが、サッカーの試合を観て魅力を知ることが出来ました。

皆さんもサッカー以外にも、やってみたいスポーツがあれば、それを目指すことも出来るでしょう。この大会でうまく出来たこと、出来なかったことを振り返り、指導者の皆さんの話をよく聞いて、生涯楽しくスポーツが出来る大人に育って欲しいと思います。

終わりに、選手の為この大会をご後援いただきますリソー教育グループに深く感謝申し上げ、また、会場を提供していただきました、稲城市、稲城市サッカー連盟、大会運営役員、チームの指導者、さらにご父兄の皆様と、多くの方々のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。